

# 継続的な森林資源の保全に向けて 「東京グリーンシップアクション」<sup>もり</sup>「企業の森林づくり」に参加



富士通グループは地球温暖化防止と生物多様性保全への貢献を目的に、全国で自然環境保全活動を行っています。今回は、東京都八王子市と佐賀県吉野ヶ里町で展開する森林保全活動についてご紹介します。

## 身近な環境活動、森林保全を体験

富士通グループは、東京都の保全地域である丘陵部の森林や市街地に広がる雑木林等で環境保全活動を実施する、東京都環境局主催の「東京グリーンシップアクション<sup>\*</sup>」に、2005年より参加しています。八王子大谷、野火止、八王子館町、横沢入に続き、2009年3月には都内に残された貴重な自然環境の一つ、八王子戸吹北緑地保全地域に他企業の方々、そしてNPOの緑サポート八王子と戸吹北森を守る会の方々と一緒に雑木林の管理を体験。

今回、広葉樹の伐採やシイタケのホダギ作りの体験を通して、恵み豊かな自然を守ること、そして引き継いでいくための環境保全活動の重要性と課題を再認識できました。



伐採直後の重い木を運ぶ子どもたちの熱心な姿

## 〈参加者の声〉

- 里山を守るためにNPOをはじめ、行政や企業が一体となって活動を進めている事実を知り、気づきを得ることができた。
- 大都会東京にも自然豊かな場所があることを知り、里山保全活動の一端を体験できて、充実した内容だった。

## 守り育み、次世代へ引き継ぐ企業の森林

2009年3月、富士通佐賀支店と佐賀県吉野ヶ里町は「企業の森林づくりに関する協定」を締結。桜の名所として知られる町有林3ヘクタールに「富士通グループ・吉野ヶ里 千本桜の森」が誕生しました。これは県が進める、行政と企業が協働し森林を守り育てる「元気な企業の森林づくり活動支援事業」の一環として、富士通グループの社員と家族らが下草刈や歩道整備、植樹等の管理活動を担うものです。協定期間の3年間に115tの二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)を吸収できる森林の保全と育成を目指し、2009年5月より定期的な活動を開始しました。



美しい桜の森を後世に残すため、継続的な活動を実施

今後も富士通グループは、継続的な森林保全活動を通じ地球温暖化防止、生物多様性保全に貢献してまいります。

## ※東京グリーンシップアクション

東京都では2003年度から、都内にある45地域の「保全地域」のうち、いくつかの地域で企業・NPO等と連携した自然環境保全活動を実施し、これらの地域を企業の社会貢献活動の場として活用しています。

富士通グループはチーム・マイナス6%に参加しています。



みんなで止めよう温暖化  
チーム・マイナス6%

FUJITSU JOURNAL  
富士通ジャーナル

発行 富士通株式会社  
マーケティング本部 eマーケティングビジネス部  
〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2  
(汐留シティセンター)  
印刷 富士通アプリコ株式会社

本誌ならびに本誌掲載の製品・サービスに関するお問い合わせ先  
富士通コンタクトライン TEL 0120-933-200  
受付時間 9:00~17:30(土・日・祝日・年末年始を除く)  
URL <http://jp.fujitsu.com/about/journal/contact/>



※本誌記事中のプログラム名、CPU名、システム名等は各メーカーの商標、または登録商標です。  
※本誌に掲載されている内容については、取材時点によるものです。  
※本誌は、森林認証紙を使用しています。また、印刷インキは大豆インキを使用しています。  
©富士通株式会社2009 本誌記事・写真・イラストの無断転載を禁じます。  
Copyright ©2009 by FUJITSU LIMITED